

こどもの病気対策法⑩⑦

－夜間のこどもの腹痛－

大分大学客員教授 是 松 聖 悟

今年度、子どものいるご家庭に配布してきた、夜間のこどもの病気対策フローチャートの改訂をしています。今回は「夜間のこどもの腹痛」です。

子どもがお腹を痛がると、大変心配されるかと思いますが、しかし、こどもの腹痛の一番多い原因は便秘なのです。そして毎日、便がでていても、便秘でお腹を痛がることもあります。慢性的腹痛で、学校に行けなくなった子どもの中に、便秘の薬で学校に行けるようになる子どももいるくらいです。

しかし、便秘なら、「良かった」で終わりますが、子どもの腹痛の原因には命にかかわる、一刻を争う病気が潜んでいることもあります。そこで、夜間のこどもの腹痛に関するフローチャートを作成しました。

まずは、吐き気を伴うか否かを判断してください。吐き気がある場合は、2017年4月号に掲載した、「夜間の

こどもの嘔吐」のフローチャートに移動してください。吐き気がない場合は、今度は熱があるか否かを判断してください。熱があれば、解熱薬を使用してください。解熱してもしなくても、腹痛が改善して眠れればそのまま朝まで観察して良いです。

発熱がない場合、排便させるか、便がでない場合は、綿棒で肛門刺激する、浣腸液があれば使用するなど、試してください。便がでて改善した場合は便秘です。これまで便秘で同じようなことを繰り返している場合は、主治医の先生に相談して、夜間のこのような場合の対処法を決めておいてください。

排便もなく、腹痛も激しい場合は、こども電話相談#8000に問い合わせてください。



夜間のこどもの腹痛 フローチャート

